

| 方針と重点 | 市の基本施策 | 学校の教育目標 | 資質・能力を育てたい | 基本施策との関わり | 本年度新たな学校の重点 | 具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか) | 評価 A S D | 分析と改善点 【児ア:児童アンケート12月、CRT:標準学力検査12月、保ア:保護者アンケート1月、職ア:職員アンケート1月】 |
|---|-----------------------------------|----------------------------------|------------|---------------------------------|----------------------|--|--------------------------------|--|
| 方針と重点 ・ 地域・挑戦し続けるたくましさの育成 ・ 郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む | ①②③④ 「深い学びを実感できる授業への挑戦」 | 豊かな心でたくましくやりぬく子 やさしくやさしくたくましく | たくましくやりぬく力 | 学びを楽しむ(確かな学力)を味わいながら、新たな学びを生み出す | ① | 1)「授業が楽しい」80%以上をめざす | A | ○児童の意識を大切にした導入を工夫するなど、児童主体の授業づくりに努めることができた。【児ア:「授業が楽しい」91%】 ○授業で学んだことを次の学習や生活に活かそうとする姿勢が育ってきた。【児ア:「学んだことを活かしている」93.5%】 □より積極的にICT機器を活用し、個別最適な学びを推進する必要がある。【CRT:6年算数 全国比-3】 ○全校研究授業や公開授業などを通して、職員間で学び合うことができた。【全職員が公開授業を1回以上実施】 □目的意識や相手意識を明確にした「話す・聞く力」の育成にさらに取り組む必要がある。【CRT:6年国語「話す聞く」全国比-7】 ○□「わくのび学習」を通して、家庭学習で興味のあることに取り組めるようになってきたが、それが普段の家庭学習の取り組みに十分つながっていない。【児ア:「わくのび学習は楽しい」86.8%、保ア:「家庭学習に進んで取り組む」71.9%】 ○□各学年で「ふるさと学習」に取り組み、国府について学びを進めてきた。さらに児童主体で地域を知り地域のために貢献できるようなカリキュラムの見直しが必要である。【保ア:「国府に魅力を感じている」62.1%】 |
| | | | | | ① | 2)最後まで見通しをもって課題に取り組める導入を行う(導入インパクト) | B | |
| | | | | | ① | 3)学びを深める学習活動を工夫する(個別最適な学び・協働的な学び) | B | |
| | | | | | ① | 4)ICT機器の効果的な活用方法を工夫し、実践していく | B | |
| | | | | | ④ | 5)自分の専門教科を中心とした研究で、年間一人1回は授業公開する | A | |
| | | | | | ① | 自分で考える土台となる学習姿勢づくり | B | |
| | | | | | ① | 1)学びの基本となる話す・聞くの学習姿勢を追求し続ける | B | |
| | | | | | ① | 1)「めあてを決めて取り組む家庭学習」等の実施により、自主的に行う学習を推進する(保護者評価85%以上をめざす) | B | |
| | | | | | ③ | 1)地域の自然、歴史、文化、人材の一層の活用を図るなどして、国府の魅力を感じ、未来を描くことができるようにする 2)郷土教育に関わる指導計画を実践検証する | A B | |
| | | | | | 自他のやさしく(豊かな心)の視野を広げる | ② | 1)学級目標の具現化を意識した取組を行い、各期ごとに確認する | |
| | | | | ② | | 2)毎日終わりの会でお互いの活動や頑張りを認め合う場を設定する(すべての学級で行う) | A | |
| | | | | ② | | 3)各委員会のスローガンを踏まえ、当番的活動だけでなく創造的な活動も実施し、学校生活の向上を図る | B | |
| | | | | ② | | 4)学級では、一人一役の役割に責任をもち、やり切れるように工夫する | A | |
| | | | | ② | | 1)互いの違いについて認め合える意識を向上させ、個々が尊重される集団づくりを行っていく | B | |
| | | | | ② | | 1)委員会でのあいさつ活動など年間を通した啓発を行う | B | |
| | | | | ② | | 1)計画的な支援員等の配置や日常的に児童、保護者との懇談を行う | A | |
| | | | | ② | | 1)命を大切に教育の推進 | A | |
| | | | | たくましく(健やかな体)を身に鍛え、自他の命を大切にできる | ④ | 1)眠育、健康診断、食育、歯磨き指導等の健康教育を充実させる | A | |
| | | | | | ④ | 1)自分の身の回りを整え、全員で活動する生活環境を美しくするための清掃活動を充実させる指導を行っていく | A | |
| | | | | | ② | 1)体力づくり(運動会を含む)や学級遊びを通して、なりたい自分に向かって努力する強い心と仲間を思いやる心の育成を図る | B | |
| ② | 1)担任、学年主任、主幹教諭、不登校担当、管理職など組織で対応する | A | | | | | | |
| ② | 1)不適応・不登校児童への多様な対応 | A | | | | | | |
| ② | 2)教育相談週間を各学期に実施する | A | | | | | | |

学校運営協議会における主な評価内容

・保・小・中を通して、国府校区の子どもたちに「たくましさ」を求めて、教育活動を行っていることに価値がある。様々な問題があると思うが、それらを乗り越えられる「たくましさ」を一人一人の子どもたちにつけていってほしい。
・国府地区においても、いじめや不登校に対する課題があるが、学校や家庭、地域が一体となって、子どものために取り組むことができるよう、人のつながりをより一層大切にしていきたい。